



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト：憲法準備委員会解散訴訟ほか

(10月23日～24日付現地各紙)

1. 憲法準備委員会解散訴訟の最高憲法裁判所への移送

(1) 10月24日、行政裁判所は、本件は憲法準備委員会の委員選定基準を規定する法律の合憲性審査を要するとして、本件を最高憲法裁判所に移送した（注：最高憲法裁判所における判決日程は明らかにされていないが、審理準備に最大45日を要するため、最高憲法裁判所による判決は12月初旬以降となる可能性がある）。

(2) 各方面の反応

- ・ヌール党（サラフィスト）のタラアト・マルズーク法律顧問は、ムルシー大統領には最高憲法裁判所の判決を待つことなく国民投票の実施を呼びかける権限があり、国民投票の結果はあらゆる判決の効果を凌駕すると述べた。
- ・憲法準備委員会のワヒード・アブドルマギード公式スポークスパーソンは、新憲法制定に向けた真の問題は、訴訟ではなく、委員間の意見の隔たりであると警鐘を鳴らした。
- ・自由エジプト人党（リベラル）のアフマド・サイド党首は、憲法準備委員会の解散を望まない一部の者が、時間稼ぎのために司法に圧力をかけたとして非難した。
- ・4月6日運動は、憲法準備委員会が草案を国民投票にかけるチャンスを作るために、判決が先送りされているとして非難した。

2. シャフィーク元大統領候補による大統領選挙結果への異議申し立て

(1) アフマド・シャフィーク元大統領候補（元首相）の弁護士は、10月22日、アブドルマギード・マフムード検事総長に対し、6月に実施された大統領選挙結果の調査を行うよう求める告発を行った（注：シャフィーク元候補は、これまでに、国有地不正売却で起訴されている他、不正蓄財で告発されており、入国監視および資産凍結措置が取られている。現在、アラブ首長国連邦に滞在）。

(2) シャフィーク元候補のチームは、フェイスブック上において、大統領選挙委員会（PEC）ファールーク・スルターン委員長の署名入り文書を公開し、シャフィーク元候補が58%の票を獲得し、32%のムルシー大統領を退け勝利していたと主張した。また、大統領選挙の際、政府印刷所より偽造された投票用紙が出回ったこと、筆記後に書いた内容が自然に消える特殊なペンが配布され投票における不正に利用されたこと、地方において大勢のコプト教会信徒が投票所へ行くのを妨げられたこと等を主張している。

(3) マフムード検事総長は、同告発を受け、告発内容の取り調べを命じた。